

京都市

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた  
平成29年度の目標とその達成状況

目標：地域移行支援の拡充（ケースの増加や実施事業所の増加）

【達成状況】

- 地域移行支援サービス利用者数は昨年度実績を上回った。  
（平成27年度7名，平成28年度13名，平成29年度12月末18名）（委託事業所把握数）
- 平成28年度に支援を担ってもらう相談支援事業所の増加を目的に研修会を実施。現在3カ所の指定一般相談支援事業所が地域移行支援サービスを受けてくれている。経験の少ない事業所が安心して支援を継続し経験を積んでもらうために，地域移行支援の経験豊富な事業所のバックアップ体制を強化した。

目標：地域や関係機関への普及啓発（入院患者の意欲向上，関係機関への意欲喚起）

【達成状況】

入院患者の意欲向上

- 3病院と連携し院内での会議開催や，患者ミーティング・OTプログラムへの参加，地域の相談機関2ヶ所による個別相談等を実施。ピアサポーターも随時参加。現在4名が地域移行支援サービスにつながっている。

関係機関への意欲喚起

- 4病院へ事業説明とピアサポーターによる体験談発表等の普及啓発を計9回実施。
- 地域の関係機関と教育機関へ事業説明とピアサポーターによる体験談発表等の普及啓発を計5回実施。
- 精神科病院での見学会を開催し，病院職員の事業に対する意識を高め参加者にとっても開催病院との連携の強化につながった。

目標：関係機関や支援者の支援レベルの向上（支援技術や必要な情報の共有）

【達成状況】

- H25年度から中断していたピアサポーター養成について実務者会議で検討を重ね，2月に開催予定
- 京都市地域移行・地域定着支援実務者会議を毎月開催しケースの検討や情報の共有など関係機関の連携を重ねることで支援レベルの向上を目指している。

平成30年度の取組方針

1. 実務者会議の継続実施による関係機関の連携やケースの検討等の実施
2. ピアサポーターの協力を経ての地域移行の推進
3. 病院からの地域移行ケースの増加と地域の相談事業所の増加に向けた取り組み